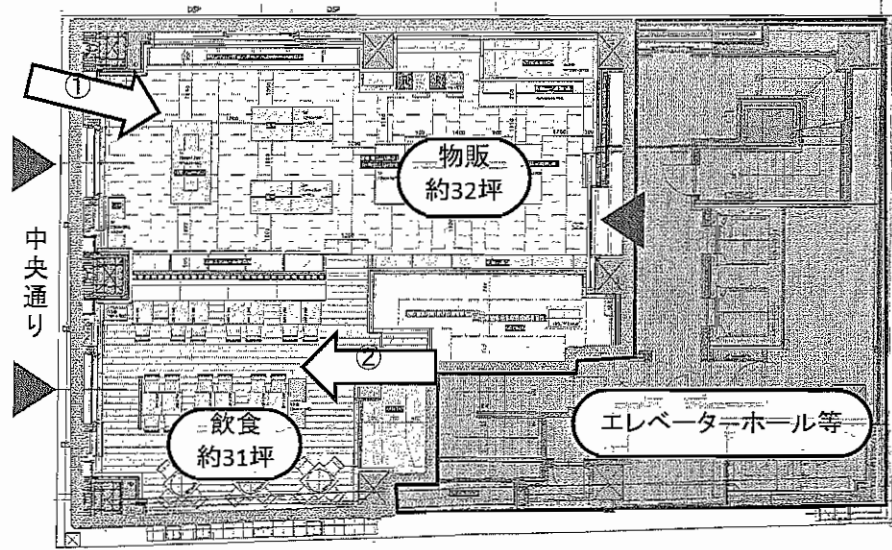


首都圏営業拠点オープンに向けた情報発信(案)

～首都圏全体での面的な三重の認知度向上と日本橋エリアでの応援企業と連携したメインターゲットへのアプローチから集中的な情報発信とコアなファンの囲い込みへ～

	～6月	7月	8月	9月	10月以降	
① 拠点を活用した企画		<p>・拠点1階ガラス面へのPR用フィルムの貼付&lt;7月上旬～&gt; 拠点の中央通り沿いの1階ガラス面にPR用フィルムを貼付し、拠点のオープンや三重の魅力を発信</p>		<p>・特別企画展&lt;9月～10月上旬&gt; 三重の伝統工芸の新しい魅力を発信する企画展やクリエイター等によるトークライブを開催 ・餅街道メニュー等の提供&lt;9月～10月上旬&gt; 企画展の開催に合わせた伊勢餅街道と伊勢茶のセットメニューなどを提供</p>	<p>・〇〇市町ウィーク・〇〇市町デー&lt;10月中旬以降月2～3回程度&gt; 県内各市町の観光・物産等をPRするイベントを商工会議所・商工会等と連携して開催</p> <p>・女子力アップ三重講座&lt;10月～3月&gt; 女性に訴求力のあるファッション・食・健康などをテーマにした著名人によるプレミアムセミナーの開催およびフィールドワークを伴う「女子力アップ三重講座」を開催 ・「三重のいいもん」×X マリアージュ講座</p> <p>・三原運橋による選官記念講座および神話プロジェクト講座&lt;10月・12月・2月&gt; 島根県・奈良県との連携による「選官」や「神話」をテーマとする講座を開催</p> <p>・市町共同投資セミナー&lt;10月中旬以降隔月開催&gt; 県内各市町と連携したセミナー等を開催</p> <p>・観光キャンペーン推進協議会事業「みえ文化講座(仮称)」&lt;10月下旬以降隔月開催&gt; 三重の食文化や伝統芸能などをテーマにした講座を開催</p> <p>・熊野古道セミナー&lt;10月下旬以降、毎月開催&gt; 熊野古道世界遺産登録10周年に向けた熊野古道をPRするセミナーを開催</p>	<p>・みえライフイノベーション総合特区PRセミナー&lt;12月中旬&gt; ライフイノベーション総合特区の取組を情報発信</p> <p>・UIターン就職フェア&lt;1月～2月頃&gt; 大学3年生を対象とした三重県への就職説明会を開催</p> <p>・みえミュージアムセミナー&lt;11月中旬に3回開催&gt; 博物館等の対談などにより、ガイドブックではわからない伊勢の魅力を伝えるセミナーを開催</p> <p>・移住相談会&lt;11月以降3回&gt; 南部地域活性化に向けた移住相談会を開催</p> <p>・地域医療セミナー&lt;11月中旬&gt; 医師確保をテーマにした地域医療推進のためのセミナー等を開催</p> <p>・県産材付加価値創造ワークショップ発表会&lt;11月中旬&gt; 県産材の付加価値創出に向けた首都圏学生とのワークショップ成果の発表会を開催</p> <p>・みえのスポーツ・まちづくり会議&lt;12月頃&gt; スポーツを通じた地域の活性化について検討する会議を開催</p>
		<p>・拠点オープン告知チラシの街頭配布&lt;7月上旬～&gt; 拠点の街頭でPRチラシを配布し、拠点オープンをPR(毎週平日数回および日本橋エリアのイベント開催時)</p>		<p>・夕涼み市&lt;9月上旬&gt; 営業拠点横の新世小路を利用し、「ECO EDO 日本橋2013」のイベント期間中に「夕涼み市」を開催</p>	<p>・産産材付加価値創造ワークショップ発表会&lt;11月中旬&gt; 県産材の付加価値創出に向けた首都圏学生とのワークショップ成果の発表会を開催</p> <p>・みえのスポーツ・まちづくり会議&lt;12月頃&gt; スポーツを通じた地域の活性化について検討する会議を開催</p>	
					<p>・特別企画展&lt;9月～10月上旬&gt; 三重の伝統工芸の新しい魅力を発信する企画展やクリエイター等によるトークライブを開催 ・餅街道メニュー等の提供&lt;9月～10月上旬&gt; 企画展の開催に合わせた伊勢餅街道と伊勢茶のセットメニューなどを提供</p>	
② 首都圏全域等での情報発信	・応援団・応援店舗・応援企業への情報発信					
	<p>・首都圏店舗でのフェア&lt;7月～10月&gt; 運営事業者が経営する首都圏内の飲食店10店舗で県食材を使ったメニューを提供する三重県フェアを開催</p>					
	<p>・イオンとの連携によるフェア&lt;8月中旬&gt; イオン名古屋ドーム店及び東海地区周辺40店舗において三重県フェアを開催予定</p>	<p>・イオンとの連携によるフェア&lt;9月上旬&gt; イオン品川シーサイド店及び南関東地区周辺55店舗において三重県フェアを開催予定</p>	<p>・駅を利用したPR&lt;9月上旬&gt; 都内の駅前イベントで三重をPR</p> <p>・観光キャンペーンガイドブック(第2弾)での拠点PR&lt;9月中旬～&gt; 観光キャンペーンガイドブックをメディア・旅行エージェント等に配布し拠点もPR</p>	<p>・百貨店での三重県物産展&lt;1月頃&gt; 首都圏内の百貨店で開催する三重県物産展にあわせて拠点開設をPR</p> <p>・イオンとの連携によるフェア&lt;11月頃&gt; イオン堺北花田店及び西近畿地区周辺51店舗において三重県フェアを開催予定</p> <p>・イオンとの連携によるフェア&lt;2月頃&gt; イオン藤塚新都心店及び南関東地区周辺56店舗において三重県フェアを開催予定</p>	<p>・三重ゆかりの企業・店舗の協力によるフェア等の開催&lt;10月～&gt; 三重ゆかりの企業・店舗の協力を得て県食材をPRできるフェアや物産展などを開催</p>	
③ 日本橋エリアでの情報発信	<p>・知事と企業のトップ懇談会&lt;6月～毎月&gt; 知事と企業のトップ懇談会による拠点等三重の魅力を情報発信</p>					
	<p>・日本橋界隈のシェフを対象とした三重県食材の提案会等 拠点周辺施設の飲食店などと連携した食材フェアの開催に向けたシェフ対象の食材提案会等を開催</p>	<p>・三重運橋「記紀万葉プロジェクトパネル展」 日本橋界隈の企業家等を講師として開催される勉強会を利用し拠点オープンや三重の魅力をPR</p> <p>・7/28日本橋水洗いイベント 名橋日本橋保存会主催の日本橋を洗うイベントに参加し拠点オープンをPR</p>	<p>・アサゲ・二ホンバシでのPR&lt;8月上旬&gt; 日本橋界隈の企業家等を講師として開催される勉強会を利用し拠点オープンや三重の魅力をPR</p> <p>・8/4橋の日打ち水大作戦 橋の日を実施される打ち水を行うイベントに参加し拠点オープンをPR</p>	<p>・三重ゆかりの企業・店舗の協力によるフェア等の開催&lt;10月～&gt; 三重ゆかりの企業・店舗の協力を得て県食材をPRできるフェアや物産展などを開催</p>	<p>・拠点周辺施設の飲食店等と連携した食材フェア&lt;10月下旬の2週間～1ヶ月間&gt; 拠点周辺施設内の飲食店や日本橋界隈の飲食店で、県食材を活用したメニューを提供する食材フェアを開催</p> <p>・拠点周辺施設の飲食店等と連携した食材フェア&lt;1月下旬～2月&gt; 拠点周辺施設内の飲食店や日本橋界隈の飲食店で、県食材を活用したメニューを提供する食材フェアを開催</p>	
	<p>・物産展と運動企画&lt;10月中～下旬&gt; 日本橋エリアの百貨店での物産展の開催に合わせたPR企画を実施</p>	<p>・まつり協賛イベント&lt;10月～3月&gt; 日本橋最大の秋のまつり「日本橋・京橋まつり」をはじめ、日本橋界隈のイベント・まつりに合わせて協賛イベントを実施</p>				
④ メディア戦略	<p>・営業拠点のプロモーション&lt;名称決定後&gt; 首都圏のテレビ、新聞、雑誌等のマスコミに対するプロモーション活動を展開し拠点オープン等をPR</p> <p>・営業拠点のプロモーション&lt;オープン1週間前&gt; メディアキャラバン及び都道府県記者クラブ等へのプレスリリースを実施し拠点オープンをPR</p>					
	<p>・観光キャンペーン推進協議会事業でのプロモーションとの連携 新聞、雑誌、テレビ等を対象としたメディアキャラバンに同行し、三重の観光PRとともに、拠点オープンをPR</p>					
⑤ その他日本橋界隈のイベント	<p>・7/13～9/23 ECO EDO 日本橋2013 : 日本橋一帯</p> <p>・7/19～8/7 ジャパン・レストラン・ウィーク2013 サマープレミアム : 日本橋地域の4つの飲食店</p>	<p>・8/末 室町一丁目・本町一丁目合同盆踊り : むらまち小路</p> <p>・8/末 中央区大江戸まつり盆踊り : 浜町公園</p>	<p>・9/14 第3回豊年萬福壺 : 豊年萬福</p> <p>・9/下旬 第60回日本伝統工芸展 : 日本橋三越7階催事場</p>	<p>・9/27～10/15 第6回EDO ART EXPO : 中央区内の企業、ホテル、文化・観光施設</p> <p>・10/14 てんてん祭り : 人形町内</p> <p>・10/17～19 人形市 : 人形町内</p>	<p>・10/27 日本橋京橋まつり : 中央通り</p> <p>・11/14 てんてんの市 : 人形町松島神社</p>	<p>・1/1～ 日本橋七福神めぐり : 水天宮等日本橋地区八神社</p> <p>・1/3 箱根駅伝(復路) : 日本橋地区</p> <p>・2/3 節分祭 : 水天宮</p>

## ■1階平面図基本設計(案)

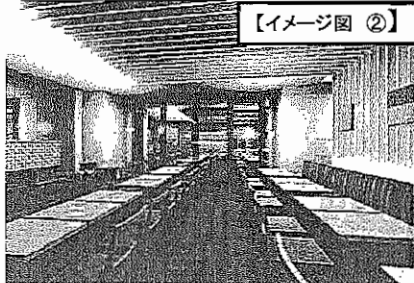


## ■1階イメージ図(案)

イメージ図①:1階物販(通り側から内側を望む)



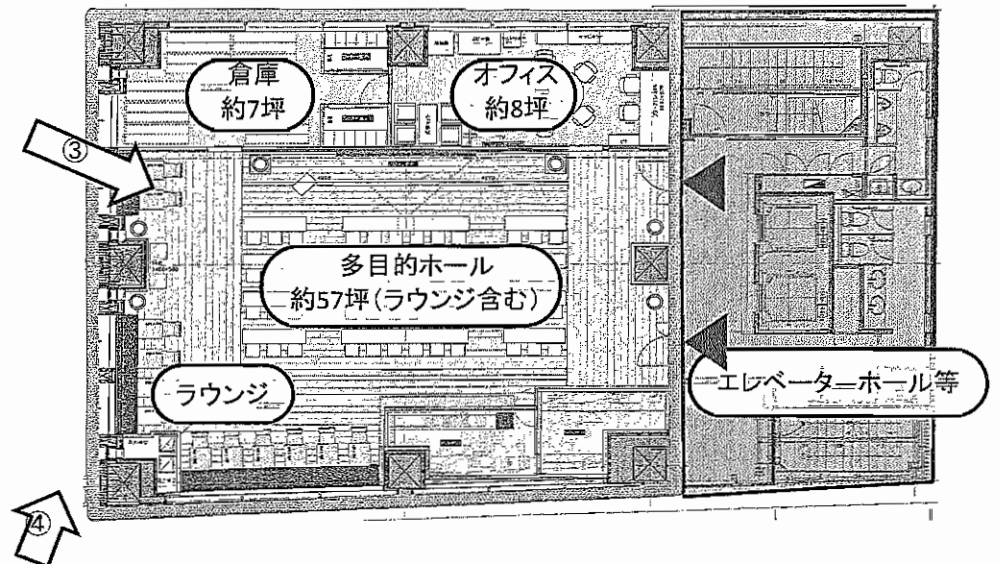
イメージ図②:1階飲食(内側から通り側を望む)



	席数	m <sup>2</sup>	坪
物販		106	32
飲食	38席	102	31

【補足】イメージ図について  
 今後、三重の魅力的な素材や伝統工芸品等の活用に応じて(什器、壁など)、色合いや形状などが変更されます。

## ■2階平面図基本設計(案)



## ■2階及び外観イメージ図(案)

イメージ図③:2階多目的ホール(通り側から内側を望む)



イメージ図④:外観図(通り側から望む)



	席数	m <sup>2</sup>	坪
多目的ホール	48席	188	57
ラウンジ	24席		
オフィス		27	8
倉庫		24	7

## 営業拠点で取り扱う県産品（取扱商品）について

### 営業拠点で取り扱う県産品の選定手続き

営業拠点で取り扱う県産品については、以下の手続きにより選定します。

#### 1 対象商品

(1) 次の各号のいずれかに該当する商品であること。

- ① 農林水産物については、三重県内で生産、収穫されたものであること。
- ② 農林水産物以外の商品(加工食品、工芸品等)については次のとおりとする。
  - ア) 商品の主要な原材料が三重県産であって、商品の製造または加工の最終段階が県内事業者によって行われていること。
  - イ) 商品の主要な原材料が三重県産であって、県外の事業者により製造または加工された商品の場合は、商品の販売が県内事業者によって行われていること。
  - ウ) 商品の主要な原材料が県外産であっても、その製造または加工の最終段階を県内事業者が行っているか若しくはその販売を県内事業者が行っていること。(ただし、三重県らしさなど三重県のPR、イメージアップにつながる商品であること。)

(2) (1) 以外の商品で、県が必要と認めるもの。

(3) 食品衛生法、JAS法(農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律)、農薬取締法、健康増進法、薬事法、景品表示法(不当景品類及び不当表示防止法)、計量法、JIS規格(日本工業規格)等、その他関係法令等を遵守していること。

#### 2 申込資格

三重県内に事務所または事業所を有する個人、法人、その他の団体等

#### 3 取扱商品の選定方法

(1) 商品取扱申込書の提出

県産品の出品を希望する者は、「商品取扱申込書」及び必要書類を添付して県に提出する。

(2) 商品選定会議

県は、申込のあった商品を「商品選定会議」に、その取扱いについて提案し、当該会議において決定する。

原則、選定会議は3か月ごとに開催する。

#### 4 取引条件等

仕入れ方法や取引価格、取引時期など取引の諸条件については、運営事業者と出品者間の協議により決定する。

商品の取扱期間は、事故等特段の事由がない限り、原則3か月間取り扱う。期間の延長については、販売実績や顧客評価、商品構成等により決定する。

## 営業拠点「多目的スペース」の利用について

営業拠点2階多目的スペースについては、県、市町、関係団体等が、さまざまな人々との交流や三重の魅力の情報を発信する場として有効に利用するとともに、1階とも連動して一体感を持った活用を進めてまいります。

### 1 多目的スペースにおけるイベント

多目的スペースにおいて開催できるイベントは、三重の「食」や「観光」、「歴史」、「文化」、「産業」など様々な魅力情報の発信、「三重ファン」の積極的な拡大、県産品の販路拡大、県内への誘客の促進のために開催するセミナー、講座、商談会、展示会等とします。

ただし、営利のみを目的としたイベントを開催することはできません。

#### イベント例

- ・観光PRに関するイベント
- ・三重の伝統・文化・歴史等に関するセミナー・講座
- ・伝統産業・地場産業を紹介する展示会
- ・生産者と事業者との商談会・展示会
- ・ミニキッチンを使った食イベント
- ・首都圏でのネットワークの活用、拡大のためのイベント 等

### 2 利用条件等

- ・施設、設備・備品等の利用料及び光熱水費は無料とします。
- ・利用時間は、原則午前10時00分から午後10時00分までとします。
- ・座席数は約50席です（講義型の場合）。
- ・スクリーン、プロジェクタ、DVDデッキ等が使用可能です。
- ・ミニキッチンにおいて、給湯やIH調理器による簡易な調理等の対応が可能です。

### 3 利用申込方法

- ・県（三重県営業本部担当課）は、事前に県庁各課、市町、関係団体等に利用の意向調査を行い、イベント計画を作成します。
- ・利用者は、イベント計画に基づき、イベント実施の2カ月前までに申請書を県に提出し、県はその内容が適当であると認める場合は、承認・通知を行います。

## 営業拠点の運営にかかる指標の検討状況について

首都圏営業拠点の運営状況を的確に把握し、営業拠点の適正で効果的な運営を図るため、地域ブランド、観光誘客、情報発信などの有識者の方で構成する、「首都圏営業拠点経済効果指標検討会」での意見をもとに指標の検討を進めています。

現在、検討会で出されている指標設定に関する考え方は、以下のとおりです。

- ①地域ブランド力、好感度、観光、物産など、様々な視点からの指標の設定
- ②県民にわかりやすい指標の設定
- ③他県が採用しているような売上額、来館者数などの指標のほかに、三重県独自の指標の設定
- ④来館者アンケート調査の実施による指標の設定
- ⑤商談会の実施による成果指標の設定